

FY24 Q3 決算発表後に多かったご質問とご回答**全体**

Q Q3決算発表後、株価が弱い背景には何があるのでしょうか？

A 当社のファンダメンタルズに変化はありませんので、株式市場におけるローテーションなどテクニカルな要素が起因しているのではないかと推察しています。

ライフケア事業全体

Q 利益率が20%に戻るのはいつ頃でしょうか？既に市場シェアが戻っているのにも関わらず、なぜ販促費用を使い続けているのでしょうか？

A 積極的な販促活動により、昨年3月に発生したITインシデントから売上を短期間で回復させ、足元では売上成長率をインシデント発生前の水準に戻すことができています。他方、利益率については費用増により通常時より利益率が2-3ポイント低い状況となっています。現在の成長性はこうした活動に支えられている部分がありますので、費用の正常化についてはお客様との関係を考慮しつつ、タイミングを慎重に見極めてまいります。

Q ライフケア事業の中国市場での弱さはどれくらい続きそうですか？好転しつつあるのでしょうか？

A 改善の兆しは見えてきていますが、当面の間、影響が続く見込みです。外部環境の変化に対応すべく、内視鏡については中国ビジネスにおける構造改革を行った結果、QoQで回復傾向にあり、最悪期は脱しつつあります。引き続き、市場の状況を注視しながら、しかるべき対応をおこなってまいります。なお、ライフケアの主要製品における中国売上比率は1割程度ですので、他地域でカバーが可能と考えています。

メガネレンズ

Q 中国における近視抑制レンズ市場において、競合は成長している一方で当社の販売状況が弱いのはなぜでしょうか？

A 昨年度（FY23）までに積極的にMiYOSMARTを販売し市中在庫の水準が上昇していたところに、景気後退が重なったことにより、当社からメガネ店等へのセルインがスローダウンしました。近視抑制レンズにおいて、当社は競合比較で2年ほど先行しており、主に前年の比較水準や在庫水準の違いから競合の成長率の方が一時的に高くなっていると考えています。

Q 競合のスマートグラスの販売が好調ですが、HOYAとしては取り組まないのでしょうか？

A 当社はスマートグラスそのものではなく、同製品用の光学部品の開発を進めています。グループ内にメガネレンズとハイテク製品の両方のノウハウがあるユニークなポジションを活用し、市場でのプレゼンス向上を図ってまいります。

ブランクス

Q DeepSeekなど最先端の半導体を使わずして成立した生成AIの登場により、EUV関連市場の今後の需要見通しは引き下がっているのでしょうか？

A DeepSeekなどの中国製AIがEUVを使わずに安価に実現したとして耳目を集めていますが、EUVが技術的にオーバースペックであると判断するのは早いと考えております。事実、顧客は今後もEUVを使ったさらなる微細化を目指しており、EUVブランクスの需要見通しについても変化は見られません。

Q 位相シフトマスクはいつ頃から売上貢献する見通しでしょうか？

A 位相シフトマスクは2025年後半より量産予定の2nmプロセスから導入される予定ですので、2026年3月期から売上に寄与する見通しです。

HDD 基板

Q 生成AIはどのような影響がありますか？ 学習サーバーと推論サーバーで違いはありますか？

A 部品メーカーである当社の立ち位置から最終製品での使われ方を把握することはできません。ですので、推測になりますが、今のところ生成AIのプラス影響は限定的であり、現在のHDD需要増は二アラインの需要回復が大部分を占めると考えています。また、学習サーバーと推論サーバーでHDDが使われているのか、どのように使われているかといったことも同様に分かりかねます。

※以前の四半期と重複する質問については、掲載は割愛しました。よろしければQ1-Q2のFAQも併せてご参照ください。

- [FY24 Q1 FAQ](#)
- [FY24 Q2 FAQ](#)

以上

将来予測に関する記述

当社は、将来計画および業績見通しに関する情報の言及や情報開示を行う場合があります。

歴史的事実に関するものを除く全ての記述は、将来予測と見做される可能性があり、資料作成時点における経営者の想定や入手しうる情報に基づくものです。これには、為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、競争環境、生産能力、将来における売上/収益性/設備投資/キャッシュ/その他の財務指標の状況、法的、政治的、または規制上の状況、臨床または研究開発能力、顧客の行動または商慣習、医療費償還制度、現在問題となっている新型コロナウイルスをはじめとする疫病や健康問題などの影響を含みます。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。また、新たな情報や将来の出来事などの結果を受けて、将来予測に関する記述を更新する義務を負いません。

お問い合わせ先:h-ir@hoya.com